

お待ちかね！定演直前特別号

「年末一大イベントへのご招待」

OB会長 坂本 秀行

「年末・・・」という言葉には、きっと誰しもある感慨を伴ったイメージを持っておられる事と思います。ある聡明な心理学者の深階層的分析では、これは毎年末に繰り返される強烈なイベントの記憶が、強烈なインスピレーションを喚起し右脳に作用する為に発生する現象と定義されております。更に、この心理学者は「年末の記憶」とは以下のカテゴリに分類されると言及しております。

- A: レコード大賞を見る→紅白歌合戦を見る→行く年くる年を見る→倦怠感を味わう
- B: 酒を飲む→へべレケになる→ハレンチになる→記憶がない→自己嫌悪に陥る
- C: 家族(or彼氏、彼女)を定演に誘う→ロスガラを聴く、見る→威厳が増し尊敬される
- D: 家族(or彼氏、彼女)を定演に誘う→ロスガラを聴く、見る→ひんしゅくを買い失墜する

A、Bパターンの方

末期的症状です。定演に来て恒常的な生活様式を打破しないと生命が危険です

Cパターンの方

柳の下にどじょうは沢山います

Dパターンの方

今年こそは違います

という訳でいずれにしろ、人間は生まれながらにして定演に行かなければならない宿命を背負っている事がよく理解できた事と思います。今年、ロスガラ生誕(1962年)31周年にあたり、まさに新しい夜明けといえます。今年こそは是非ご家族連れでお出かけ下さる様、OB会幹事一同心からお待ち申し上げております。

定演のご案内

日時: 12月18日 会場17:00、開演17:30

場所: いつもの新橋ヤクルトホール

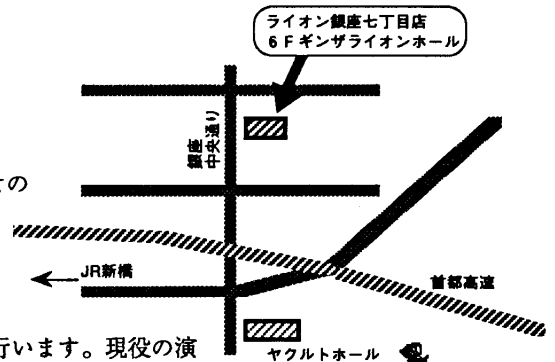
今年は同封のご招待状で2500名までしかご入場になれませので、同伴者は厳選する必要があります。ご注意ください。

OB総会のご案内

年末恒例となりましたOB総会を、今年も定演後に執り行います。現役の演奏を肴に、「ぶわあ〜っ」と盛り上がりましょう！！

御家族、お友達の方の参加も大歓迎です。皆様、お誘い合わせの上、奮ってお越しください。

- 場所: ライオン銀座七丁目店6F
- 時間: 8:45頃から
- 予算: 一般会員 10,000円(年会費込み)
学生会員 6,000円(同上)



今年も
仮装が
見逃せない！！



「あなたが選ぶ第3回仮装大賞」

のお知らせ

日本レコード大賞と並ぶ年末の恒例行事として日本のミュージックシーンから注目されるこの賞も今年で3回目を迎えました。第1回のハニー小林氏、第2回のタロー倉持氏に続いて大賞に輝くのは果たして誰か？今年もさらにパワフルな仮装が期待されます。

[各賞の内容]

グランプリ 1装

今年度の仮装ジャズシーンにおいて、最も功績のあった仮装1装に対して豪華トロフィーと5,000円相当の賞品が贈られます。

準グランプリ 2装

今年度の仮装ジャズシーンにおいて、最も功績のあった仮装1装に次いで貢献のあった仮装2装に対して、それぞれ2,500円相当の賞品が贈られます。

*上記3装の賞品は、OB会事務局で用意します。

各個人賞 多装

仮装に対し深い理解を示し、かつ、OB会に対し3,000円以上の寄付をいただき、さらに当日定演に来られた方によって選ばれます。審査規準および賞品は、提供者に一任されます。参考までに、昨年の第2回仮装大賞においては、以下の個人賞が提供されました(カッコ内は提供者)。

- 高澤ハイテク賞(高澤 峰之氏、S54年入学)
- もっと勉強して出直しなさい!賞(June Production [OB会ビデオ編集部])
- 柴田賞(柴田 純治氏、S58年入学)
- エリカ賞(船曳 江里子氏、S60年入学)

個人賞提供を希望する方へ

- まだ、OB会費および寄付(3口3,000円以上)を払っていない方は、12/3(金)までにお振り込み下さい。
- 審査基準を熟考し、基準にマッチした賞品を持って会場にお越し下さい。
- 演奏会終了後、打ち上げ会場にて審査用紙をお渡します。係員にお申し出下さい。

審査方法および表彰についてグランプリ、準グランプリはOB会事務局が選出した審査団より選ばれ、演奏会のステージ上で発表、表彰を行ないます。各個人賞は、提供者の独断により決定され、定演後の打ち上げ会場にて、発表、表彰を行ないます。皆様のご協力で、第3回仮装大賞を盛り上げましょう!!

ロスガラ創部30周年記念CD領布

のお知らせ

皆様からご好評いただいておりますロスガラ創部30周年記念CD(2枚組)もいよいよ残り少なくなってきました。ラテンブームの昨今、彼女へのクリスマスプレゼントに、お子様へのお年玉にロスガラCDはいかがですか?

領布価格4,000円(郵送ご希望の方は送料360円)

申込方法 下記まで葉書、電話、電子メールにてお申し込み下さい。

お支払い 銀行振込みか現金書留をご利用下さい。振込先、現金書留の送り先は会費と同じです。CDがお手元に届いてから2週間以内にご送金下さい。

世界震驚！

最新OB名簿ついに公開！

一昨年、ロスガラOB名簿の会員への無料配付により市場経済のバランスが崩れたまま、とうとう名簿改訂版が完成し、公開されました。

- ・ 昭和36年度入学から平成3年度入学までの31年間の歴史をたった1冊に収容。
- ・ 超豪華デラックス袋閉じ製本加工を採用。
- ・ ロスガラOBを233名も搭載。
- ・ 奥様には嬉しいB5版13ページのコンパクトサイズで収納場所をとりません。
- ・ 裏表紙にロスガラOB会幹事の緊急連絡先を記載【実用新案申請中】。

のりこのCDのお知らせ

こんにちは。私は昭和57年入学ということになっておりますが、本当はもっとおばさんです。現役の頃はテナーも吹いておりましたが、5年前に22万で売ってそのお金でニューヨークに遊びに行ってしまった(笑)。今はフルートとアルトフルートを吹いています。この度ジャズのフルートカルテットのCDを製作いたしました。皆様に聴いて頂ければ、とてもとてもうれしく思います。

アルバム名: Easy Come, Easy Go
 作者: 小島のり子
 収録曲: プールですすいすい/Tune of June/やしの実/ぬかるみ/かべ/Mouth of the Mogami-River/Easy Come, Easy Go/他
 問い合わせ: Office 2 TOPS Phone & Fax 03-3386-1761
 取扱店: 西武池袋SMA館B1 アール・ヴィヴィアン/六本木WAVE4Fストアディズ/ディスクユニオン新宿店、お茶の水3&4号店、渋谷3号店、吉祥寺店、国立店、横浜店、千葉店、柏3号店

学外からの参加者ではありますが、ロスガラ出身でバンドマンになってしまった数少ないバカヤロ様です。又、部室周辺(特に旧部室)は私の音楽練習における聖地でもあります(真顔)。そんな訳で今後ともよろしくお願いたします。ライブもあちこちで演っていますので、どうぞいらして下さい。



小島のり子

特別企画～突撃インタビュー

高澤夫妻はキューバで

何を見たか！？

前号の特別企画「高澤峰之氏、キューバへ音楽留学か！？」に続き、今号では記者を新婚まもない氏の自宅へ派遣、キューバ留学の真相に迫った。果たして、その真実は白日もとに曝されるのであろうか？

記者: こんばんわ。今夜は奥様の手料理を御馳走してくださいそうで、有難うございます。

高澤: 今日は何を話たらいいんだろうか。

記者: 前号で予告したキューバ留学体験談じゃないですか、やだなあ～。

高澤: あ～、そうだった。いや～、ワシにとっては、実質初めての海外旅行だったので、緊張したね～。

記者: 本当ですか？ビデオ(注1)を見る限り、そうは見えませんが。

高澤: ビデオには映っていなかったけど、乗り継ぎ途中のメキシコの空港なんかは、周りは「ひったくり」と「ギャング」ばかりだと聞いていたんで、もうビクビクのビリビリもんだったよ。あっ、御飯ができたよ。

記者: これはどうも。あっ、奥さん、どうぞお構いなく。こっちはこっちで勝手にやっていますから。

この日のメインディッシュは鱈の丸干しであった。中略して、食後の会話。

記者: 御馳走さまでした。しかし、肉じゃがの中にニンニクが丸ごと入っているなんて、珍しいですね。

アモール(注2): そんなことはいいから、キューバの話をしましょうよう。

記者: そうですね。じゃあ、キューバの音楽学校の話を聞かせてください。一応、音楽留学に行ってきたってことですから。

高澤: その留学した所っていうのは、正式には「コンフント・folklorico・nacional・de・Cuba」と言う名前前で、キューバの伝統的な民族舞踊やそのための民族音楽をずっとやっている国の文化団体みたいな所なんだ。そこが、年に2回、観光客の為に講座を開いていて…。

アモール: 私達はその講座に参加して、2週間勉強してきたわけよ。

記者: 例のビデオで高澤さんがバター(注3)を叩いているのが映っていましたが。

高澤: そうそう、他にも楽器はあったけど、ワシは入学の時に「是非バタをやりたい(スペイン語で)」と言って、バタを教えてもらったんだ。

アモール: 私はダンス中級コースに放り込まれて、ヨバル語(注4)の歌と、ポピュラーダンスと、サンテリアという神を祭る祭礼の踊りと、ルンバと…。

記者: そんなに一杯習ってきたんですか、たった2週間？

高澤: なにしろ向こうでは、紙に書いた譜面やテキストなんかは一切なくて、楽器のリズムや歌の歌詞はみんな口伝え。こっちはそれをその場で覚えなくちゃいけない。忘れないようにメモするのが大変だった。

記者: 思ったよりちゃんと勉強してきたんですね。現地のミュージシャンのライブとかも行ってきたんですか?

アモール: ライブには恵まれなかったのよね。聞いた情報が殆どガセネタで、目当てにしてたバンドはあんまり見れなかったわ。でも、1ライブがたったの\$5~6(ドリンク別)でとっても安かったのよ。

記者: キューバ人と友達になれましたか?何か、手紙とか来てみるみたいですけど。

高澤: そう、キューバ人の友達も沢山できたし、学校で一緒に受講したスイスとかイギリス、メキシコ、デンマーク、アルメニアの人達とも友達になった。

記者: その人達、高澤さんのこと何人だと思ったんでしょうね?

高澤: 皆「君が、私があった初めての日本人だ」と喜んで、ワシのことを“サムライ”って呼んでくれてたけど。別れるとき、自分の国に来たら必ずよってくれて言われたから、「日本に来たらワシの所へ寄れ(英語で)」と言っておいたけど、本当に来たらどうしよう。

記者: 怖いですね。何しろあいつら、肉食ってますからね。

高澤: でも、彼らには日本人はこうやって挨拶するんだと言って、合掌してお辞儀することを教え込んだから、大丈夫かな。

記者: そうですね。

高澤: まあ、蜜柑でも食べたまえ。

記者: あ、どうもすみません。

高澤: なんだ、もう大相撲ダイジェスト(注5)が始まる時間じゃないか。テレビをつけよう!

こうして秋の夜は更けていくのであった。 おわり

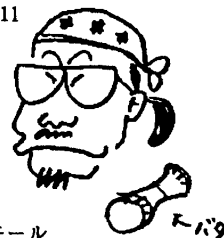
注1) ビデオ: 高澤氏はキューバ旅行の様子をホームビデオにて克明に記録している。

注2) アモール: 高澤氏の妻。前号で紹介済みだが、念のため。

注3) バター: 乳製品ではない。キューバでしか作られていない打楽器の一つ。持ち運び可能な両面コンガ。

注4) ヨルバ語: キューバ人のルーツの一つである、アフリカのヨルバ族の言葉で、神話の世界を歌うもの。キューバの人でもその意味を解するものはいない(アモール談)。

注5) 大相撲ダイジェスト: 日本の国技であるところの相撲の試合結果を、30分程度にまとめて紹介するテレビ番組。深夜11時からの放映のため、生中継で試合を見ることのできない中高年のサラリーマンに人気がある。ご存じの方も多いであろうが、念のために。



画・アモール

ついに暴きだされる!?

新連載「ロスガラの妻たち」

前号で「ロスガラの妻たち」を連載する、と予告したところ、電光石火の如く世界中で大反響が起こった。編集部には連日連夜内容に関する問い合わせが寄せられ、電話がバンク寸前の状況になり急ぎよ20回線増設した。また原稿も続々と届けられており、スタッフは原稿の校正で徹夜が続き、倒れるものがあとを絶たない。寄せられる手紙の中には、「私たちの現実を今公表することは極めて危険である。早急に企画を取り止めるべき。」といった批判的な内容のものも少なくない。一体彼女達には何が起きているのだろうか? 「ロスガラの妻」という肩書きによって彼女達の生活がどう変わったのか?

記念すべき第一回の記事に選ばれたのは、イギリス支部に移ってまもない西田氏(S56年度入学)の妻理華である。

第一回

英国支部、西田支部員の妻の場合

私が「ロスガラの妻」となったのは6年前でした。そのだいぶ前から「ロスガラの友」ではあったので、かれこれ10年以上のお付き合いということになります。10年前、といえば、同じ英国支部のマイケル菅野氏が現役歌手として君臨し、フェューゴ山崎氏が“極道ベース”なるものをかき鳴らしていた頃で、まだ現在活躍中の「ロスガラの妻たち」が大量発生する前のことだったのです。自分の古さにガク然とする今日この頃…。また、ウェディングレセプションをライブハウスでやるというのも、6年前は大変珍しいことでした。自らステージに上がってしまう花嫁も。(皆様あの時はありがとう。)

長いこと「ロスガラの妻」をやっていると、いろいろ楽しいことにも遭遇しました。山中湖のOB合宿での回文大会やこたつキャンプファイヤー。湯ヶ島での高梨さんの伝説の一人舞台やら、森田さんの一人二人羽織、田中さんの「タイムマシン」etc. そうそう、大岡山の「いろは」ではあんまり面白いのでお店からビールを貰いましたっけ。私はアルコールを受け付けられない体質なので、宴会といえば居心地の悪いもの、と決まっていたのですが、ロスガラの宴会に出させてもらって、初めて「宴会って楽しいなあ」と思ったのでした。だから、「ロスガラの妻」の生活をエンジョイする秘訣は、いろいろなイベントにマメに参加することだと思うのです。

現在、英国支部は暗く長い冬に突入しました。日中の気温が3°~4°Cなどということもあります。しか

し、先日ロンドンの地下鉄の車内で見た雑誌には、「ロンドンのサルサシーン」などという記事も載っていました。(スノップなおねえさんが踏んづけていたのでさすがに拾えなかった。) 関係ないけどケートブッシュの新譜も発売になりました。小規模ではありますが、これからもホットでしかも家庭的な活動をしていきたいものです。

[解説] 一見何気ない文章であるが、私はこれを読んだときまさに恐懼戦慄の思いをした。特に注意すべき点は、「私はアルコールを受け付けない体質なので、…」の下だりである。「ロスガラ」と「アルコール」は、如何なる可能世界においても恒等であるという定理は、ドラマターとしても有名な数学者オイラーによって証明されている。

ロス・ガラチェロスOB会 イギリス支部活動その後

前号特集にてロスガラOBの世界各地での様々なホットな活動を紹介したのはまだ記憶に新しいが、その中でイギリス支部に最近加わった西田氏(先ロスガラ妻の旦那)からまたまたホットな話題が送られてきました!ますます広がる世界ロスガラ支部、その勢いはとどまることを知らない!!

* 第一回UK支部全体会議 オックスフォード、菅野邸にて現地時間8月29日に全構成員6名にて大々的に開催!

[訳者注] 詳細は述べられていないが、焼き肉大会が執り行なわれたであろうことが白日のもとにさらけ出されている。(8/29→ハイ、肉!)

* 第二回UK支部会議 ロンドン、ソーホーの中華料理店にて構成員3名(菅野、西田、西田妻)および多数のゲストを招いて開催。UK-stayers 帰国者を送る会を併設の予定だったが、帰国者の車が帰国前日であるこの日にクラッシュ、送る人が来ないただの宴会と化した。なお、この車は西田が引き取る予定になっていたため、西田はいまだに車なしの生活を余儀なくされている。

[訳者注] イギリスで日本人が中華料理を食べる、という部分だけで、ロスガラOBが如何に国際色豊かであるかが伺われる。しかも送迎会に送迎者がいなくても宴会を執行するあたりは、学生時代に他大学のバンドの打ち上げに呼ばれておきながら三次会あたりではロスガラしか残らずそれでも彼らの打ち上げを続けている、という風習をそのまま受け継いでいるのがよくわかる。



会談決裂!?

前号予告にて予定しておりました特集「緊急対談! ノラ(オルケスタ・デ・ラ・ルス*) v.s. フェーゴ山崎氏(オルケスタ・デル・フト**)」は、ノラさんの都合により残念ながら中止となった。これに対して、対談を予定したフェーゴ山崎氏は次のように話している。

「まことに残念でならない。こちらとしては対バンドとしての出演依頼も考えていたところであったが、向こうに十分理解が得られなかった。今後も慎重に対応して、何とか対談を実現させたい。」

*) プロのサルサ・オーケストラとして近年急速に脚光を浴びている。「サルサに国境はない」という曲により、今年国際ノーベル平和賞を受賞。

***) ロスガラOBのうち熱烈的なサルサファンが結成した、世界最大規模のサルサ風ラテンバンド。過去の会報に度々掲載されてきた。

人事通知

東京工業大学 経営工学専攻 修士
田名部 元成 殿

あなたには下記の通り発令がありましたのでご通知致します。

記
ロス・ガラチェロスOB会学生会幹事に命ず
発令年月日 平成5年12月1日

お詫びと訂正

前会報(26号)にて誤植がありました。お詫びと訂正を申し上げます。

	誤	正
表紙タイトル	勝亦電気	勝亦電機
2ページ「幹事就任のご挨拶」	鴨谷	鴨谷
6ページ「編集後記」	辛い	幸い

編集後記

いよいよ定演直前、何とか予定をあけて一年ぶりの再会を果たしましょう。